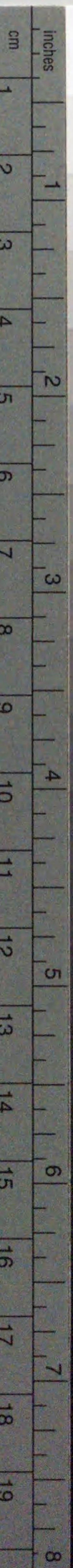


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007. TM: Kodak

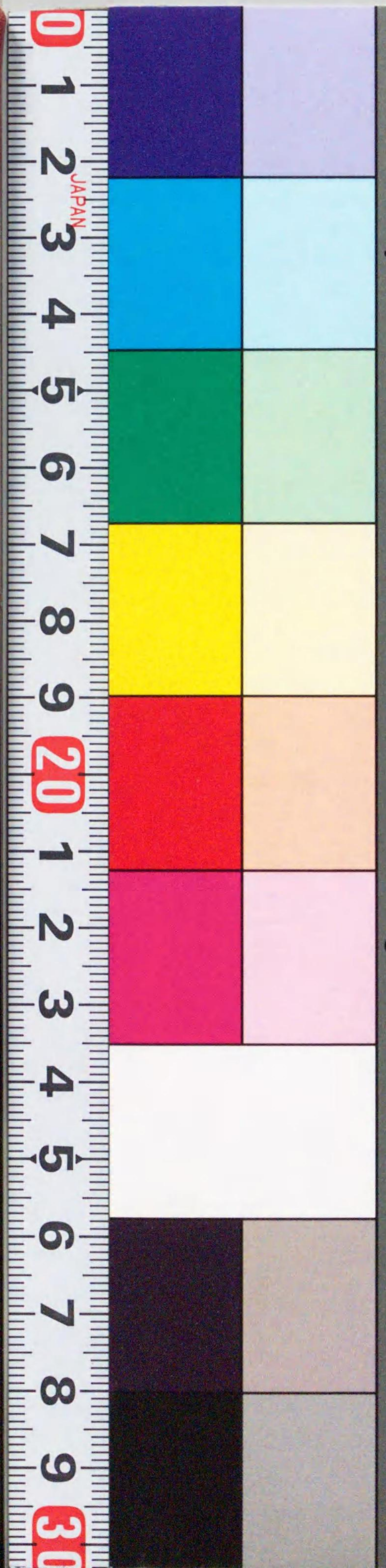
A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

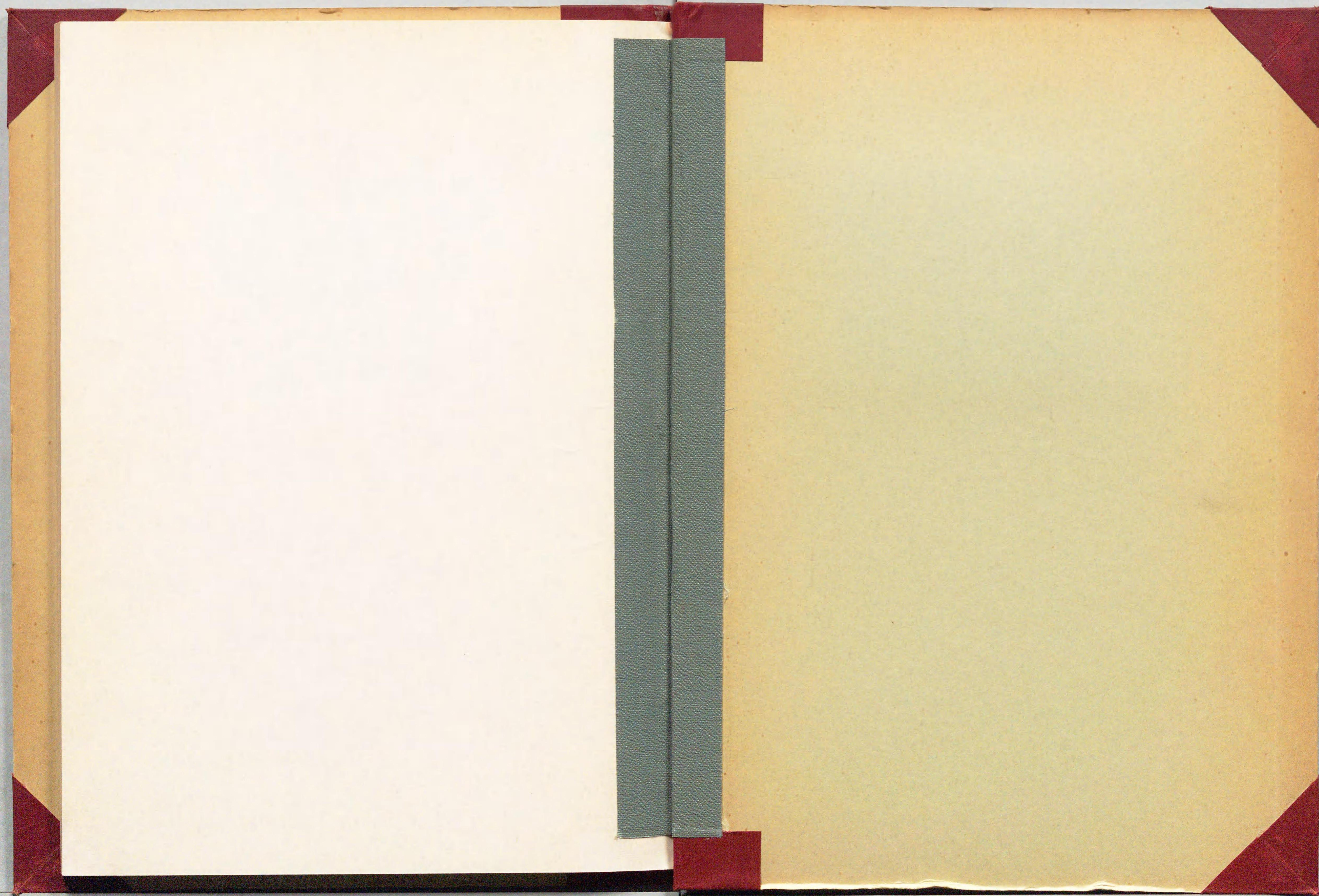
© Kodak, 2007. TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



213.6
Te143t
00212557

東京中心郷土関係史蹟一覽
国立国会図書館



213.6

Tel43t

東京
中心

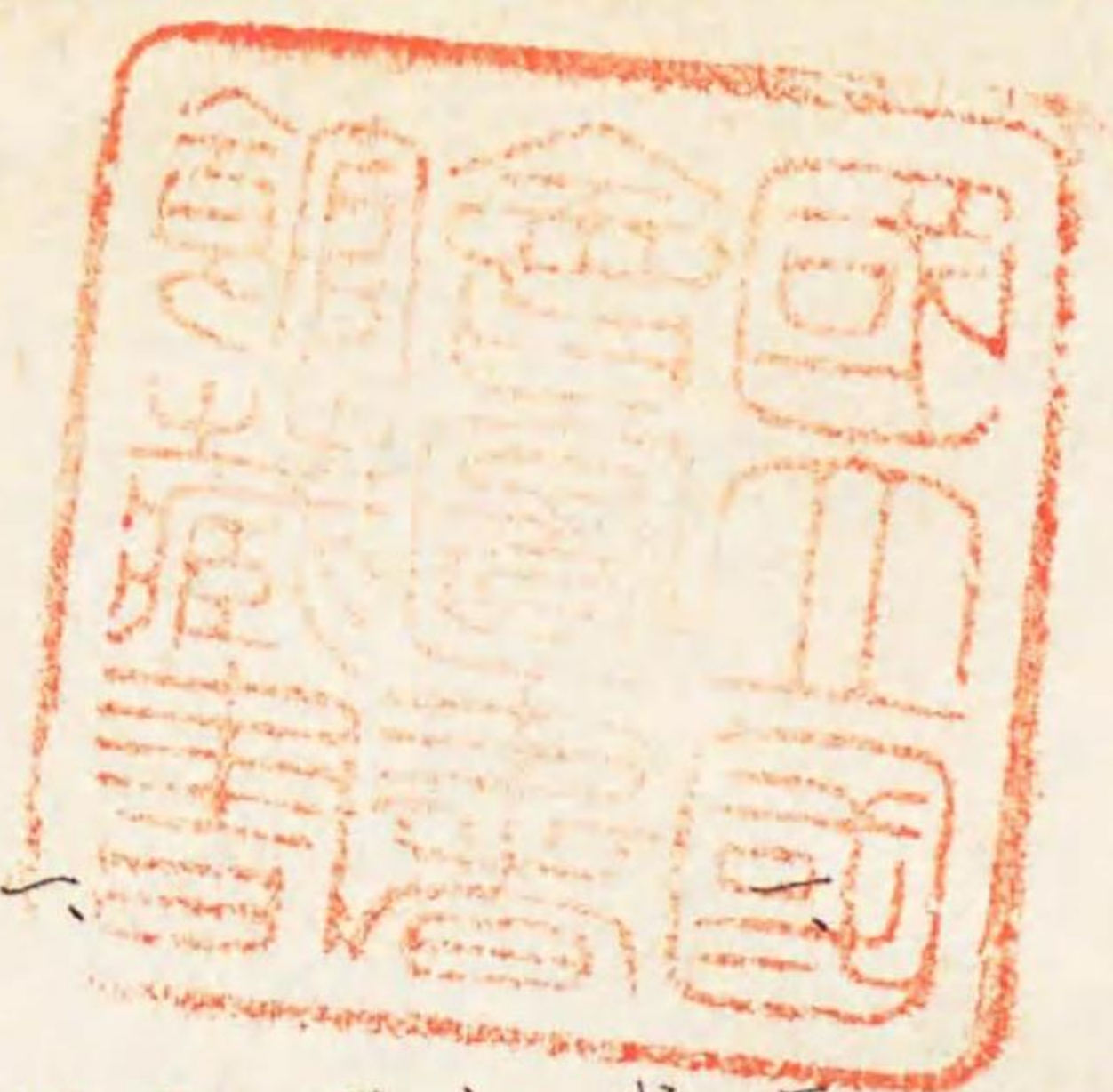
郷土關係史蹟一



Te1436



212557



凡例

題して郷土關係史蹟一覽と云ふも、取材の範圍は件名に於て小學國史全四卷に現はれたる人物、地名事件に關係するもの限り、地域ははゞ関東地方の内を出でず。蓋し郷土の概念の強ち確定せざる今日に於ては日常見聞に觸るゝ事最も多き事物を以て限るを妥當と信じたればなり。即ち東京市より往復の行程一日を超えざる邊を以てはゞ之が限度とせり。解説は簡にして要を得んことを努め、濫りに冗長に亘ることを避けたり。要は實際教授に際して直に活用し得んことを主眼としたるに外ならず。一覽中に掲ぐるものに就ては概ね實地の踏査を経て最近の状況に據らんことを努めたるも、中に一二調査を悉さざるものも無きに非ず。之等は總て他日に是正を期することとせり。

本表編纂に就て参考したる圖書無慮數十部、今其中最も廣く参考したる數種を次に掲げて他は省略に従ふ。特に参照の要あるものに就ては其の項下に註せり。

参考書

帝國地名辭典、大日本地名辭書、江戸砂子、關八州名墓誌、古墓之路、徳川實

記、江戸名家墓所一覽、好古類纂、洋字年表、東京名所圖會、東京の史蹟、江戸史蹟、東京史蹟寫真帳、東京府史蹟、東京市史稿、鎌倉大觀、新編鎌倉志、豊多摩郡誌、北豊多摩郡誌、下谷繁昌記、淺草繁昌記、日本地理風俗大系、以上

帝都教育會史蹟調查部

件名索引

(五十音別)

ア
青木昆陽 邸址
赤穂義士 墓
淺野長矩 邸址
切腹場所
切腹場所
淺草の教會 癩病院
足利學校 アダムス 邸址
安房神社 墓
阿部忠秋 墓
新井白石 墓
有栖川宮熾仁親王墓

イ
安藤信正 墓
西 譽 墓
板垣退助 銅像
一里塚 墓
伊東祐亨 墓
伊藤博文 墓
稻村ヶ崎 舊宅
伊能忠敬 測量起點
測地遺功表
岩倉具視 墓
神道碑
今川氏真 墓

ウ
浮田秀家 墓
上野東照宮 墓
梅田雲濱 墓
工
江川英龍 墓
練兵場
江戸城 榎本武揚 墓
銅像
才
尾崎紅葉 墓
小田原城 址
お臺場 墓
大石良雄 墓
大隈重信 墓
銅像
大久保利通 墓
三

遭難場所
神道碑

大田蜀山人墓

太田道灌墓

江戸城

大槻磐水墓

大山巖墓

銅像

大村益次郎銅像

小弓御所址

オランダ人馬術

宿所

大岡忠相墓

馬術練習地址

温故學會

力

鹿島神宮

春日局墓

和宮墓

桂太郎墓

勝海舟墓

香取神宮

加藤清正邸址

加藤友三郎墓

加藤弘之墓

假名手本忠臣蔵の名義

金澤文庫

狩野探幽墓

狩野芳崖墓

河越城

貝塚

鎌倉倉

鎌倉権五郎

鎌倉五山

鎌倉時代の交通路

蒲生君平墓

四

賀茂真淵墓

甘藷先生墓

甘藷栽培地

甘藷栽培地

神田明神

宮

北白川宮能久親王墓

お濠の松

銅像

喜多川歌麿墓

喜多川歌麿墓

木下順庵邸址

曲亭馬琴墓

吉良義央墓

キリスト教會堂

信者

信者處刑

切支丹屋敷

金玉均墓

ク

巖澤番山墓

黒田清隆墓

黒田清輝墓

寛永寺

関東郡代

群書類從ノ版木

ケ

ケール

憲法記念館

憲法記念碑

源譽墓

コ

國府ノ臺

小石川養生所址

古河公方館址

五街道

國分寺址

護國寺

後藤象二郎墓

銅像

小松宮彰仁親王墓

銅像

高麗の遺民

小村壽太郎墓

御靈社

近藤重藏

邸址

石像

昆陽神社

廿

西御隆盛銅像

西郷從道墓

銅像

坂下門

酒井忠清邸址

櫻田門

甘藷栽培地

佐野常民墓

三國交通記念碑

三條實美墓

神道碑

シ

史局

十返舎一九墓

芝東照宮

芝公園古墳

品川臺場

柴野栗山墓

昌平齋

彰義隊墓

戰役地

五

彰考館
松陰神社
朱舜水終焉之地
聚落第遺構
新橋驛
新見正興墓
又
杉田玄白墓
七
関城址
関口芭蕉庵
ソ
總持寺
増上寺の山號寺號
曾我兄弟墓
副島種臣墓

夕
大正天皇御陵(多摩御陵)
大慈院址
道鏡墓
道元墓
高島秋帆墓
高野長英碑
龍澤馬琴墓
印址
竹内式部墓
橋神社
平清盛墓
平將門墓
田沼意次墓
田沼意知墓
地方官會議々場
ソ

六
鶴岡八幡宮
ニ
朝鮮使節客館
寺内正毅銅像
寺坂信行墓
天海墓
ト
東照宮
東勝寺
徳川家康墓
秀忠墓
家光墓
家綱墓
綱吉墓
建立の寺
家宣墓
家継墓
吉宗墓

家重墓
家治墓
家齊墓
家慶墓
家定墓
家茂墓
慶喜墓
徳川光圀墓
徳川齊昭鑄造の大砲
徳丸原調練場址
鳥合原
土井利勝墓
ナ
中島信行墓
中野大小屋址
奈良時代の交通路
楠公銅像
二

日蓮墓
銅像
二重橋
葦山及射燈鑄造大砲
ノ
乃木希典墓
印址
乃木神社
ハ
方廣寺大佛
馬喰町御用屋敷
間新六墓
芭蕉庵
走水
走水神社
橋本雅邦墓
塙保己一墓
印址

七
花房義實墓
埴輪人形
林子平一族墓
林道春墓
印址
ハリス駐在所故址
ヒ
東本願寺
菱川師宣墓
平田神社
廣瀨武夫墓
銅像
フ
福澤諭吉墓
副葬品
太玉命
分陪河原

木

北條氏政 墓
氏直墓

北條時頼 墓

堀田正俊 墓

堀越公方館 址

本誓寺

本願寺

本門寺

マ

正岡子規 墓

邸址

松平容保 墓

松平定信 墓

松平信綱 墓

前野良澤 墓

間宮林藏 墓

邸址

丸橋忠爾 墓

三浦按針 邸址

水野忠邦 墓

源實朝 墓

源為朝 墓

源頼朝 墓

木像

貴蹟

室鳩巢 墓

邸址

陸奥宗光 銅像

邸址

明治神宮

×

毛

森鷗外

ヤ

柳澤吉保 墓

山鹿素行 墓

山縣大貳 墓

山内豊信 墓

山岡鐵太郎墓

ヤンヨーステン遺蹟

エ

湯島聖廟

湯島學問所

ヲ

吉田松陰 墓

シ

靈雲寺

ワ

和学所

井

井伊直弼 墓

邸址

井上馨 墓

墓

回向院

工

地域別索引

麹町區

平将門 墓

銅像

補公 邸址

加藤清正 邸址

江戸城

官城

護持院址(二橋商)

日本橋區

関東郡代屋敷

三浦按針邸址

賀茂真淵邸址

京橋區

西本願寺

河村瑞賢邸址

間新六 墓

浅野長矩邸址

ケル宿所

甘蔗栽培遺蹟

前野良澤邸址

芝區

貝塚

丸山古墳

鎌倉時代交通路

九

土井利勝墓
東照宮
徳川家靈廟
西譽墓
源譽墓
五街道
赤穂義士墓
泉岳寺
大石良雄銅像
義士切腹遺蹟
浅野長矩切腹遺蹟
浅野長矩墓
伊能忠能東海道測量起點
伊能忠敬測地遺功表
江川練兵場址
杉田玄白墓
大槻玄澤墓
品川臺場
和宮墓
後藤象二郎銅像

新橋驛
板垣退助銅像
大隈重信銅像
麻布區
貝塚
寺坂古右衛門墓
赤穂義士切腹遺蹟
米田領事館址
井上馨墓
赤坂區
貝塚
鎌倉時代交通路
大岡忠相邸址
高野長英碑
大久保利通墓
後藤象二郎墓
黒田清隆墓
西郷從道墓

佐野常民墓
副島種臣墓
憲法記念館
金玉均墓
廣瀨武夫墓
乃木希典墓
乃木神社
小村壽太郎墓
黒田清輝墓
加藤友三郎墓
四谷區
五街道
山縣大貳墓
塙保己一墓
松平容保墓
牛込區
平清盛墓

林道春墓
山鹿素行墓
柳澤吉保墓
小石川區
貝塚
切支丹屋敷
木下順庵墓
室鳩巢墓
五月雨塚(関口芭蕉庵)
護國寺
護持院
小石川養生所址
甘藷栽培遺蹟
柴野栗山墓
彰考館(文局)
大田南畝墓
龍澤馬琴墓
平田神社
林子平一族墓

三條實美墓
小松宮彰仁親王墓
有栖川熾仁親王墓
大隈重信墓
本郷區
貝塚
春日荷墓
金玉均墓
朱舜水終焉之地
一里塚
湯島聖廟
鹽雲寺
湯島字向所
近藤重藏墓
高島秋帆墓
榎本武揚墓
下谷區
貝塚

天海遺髮塔
寛永寺
東照宮
林道春邸址
徳川家靈廟
蒲生君平墓
前野良澤墓址
小松宮銅像
大慈院
山岡鐵太郎墓
彰義隊戦後地
彰義隊碑
彰義隊墓
徳川慶喜墓
西郷隆盛銅像
狩野芳崖墓
正岡子規邸
浅草區

東本願寺
キリスト教會堂址
癩病院址
堀田正俊墓
朝鮮破節客館
十返舎一九墓址
喜多川歌麿墓
伊能忠敬墓
江川英龍墓
梅田雲濱墓
本所區
太田道灌墓
回向院
吉良義央邸址
森鷗外墓
深川區
芭蕉庵
本誓寺

松平定信墓
間宮林藏墓
橋本稚邦墓
府下
荏原郡
北條時頼墓
本門寺
日蓮墓
日蓮銅像
加藤清正墓
狩野探幽墓
青木昆陽邸址
青木昆陽墓
水野忠邦墓
賀茂真淵墓
近藤重藏邸址
井伊直弼墓

板垣退助墓
松陰神社
吉田松陰墓
岩倉具視墓
山内豊信墓
勝海舟墓
福澤諭吉墓
花房義質墓
伊東祐亨墓
伊藤博文墓
桂太郎墓
豊多摩郡
平清盛墓
源實朝墓
今川氏真墓
中野大小屋址
吉良義央墓
新井白石墓
大岡忠相墓

前野良澤墓
新見正興墓
安藤信正墓
明治神宮
温故學會
南多摩郡
多摩御陵
北多摩郡
奈良時代交通路
團分寺址
鎌倉時代交通路
分陪河原
北豊島郡
浮田秀家墓
五街道
丸橋忠彌墓
田沼意次墓
近藤重藏石像

德丸原調練場址
吉田松陰墓址
安藤信正墓
加藤弘之墓
正岡子規墓
南足立郡
十返舎一九墓
南葛飾郡
方廣寺大佛鑄遺址
榎本武揚銅像
大島
源為朝遺蹟
三宅島
竹内式部墓
府外

埼玉縣
高麗郡
和銅谷
河越城
松平信綱墓
天海墓
千葉縣
香取神宮
安房神社
橘神社
小弓御所址
國府臺
三國交通記念碑
菱川師宣墓
昆陽神社
伊能忠敬舊邸
伊能忠敬銅像
伊能忠敬墓

神奈川縣

走水神社
御靈社(權五郎社)
鶴岡八幡宮
源頼朝木像
源頼朝遺蹟
曾我兄弟墓
源實朝墓
金澤文庫
總持寺
鎌倉五山
鳥合原
鎌倉宮
鎌倉土窟
東勝寺
稻村ヶ崎
太田道灌墓

北條氏政墓
北條氏直墓
小田原城址
聚落第遺構
三浦按針墓
河村瑞賢墓
大岡忠相墓
井伊直弼銅像
憲法記念碑
中島信行墓
栃木縣
道鏡墓
足利學校
阿部忠秋墓
天海墓
徳川家康墓
同家光墓
大山巖墓

茨城縣
鹿島神宮
関城址
古河公方館址
朱舜水墓
熊澤藩山墓
彰考館
徳川光圀墓
山縣大貳墓
間宮林藏墓
山梨縣
柳澤吉保墓
山縣大貳墓
静岡縣
堀越公方館址

東京 郷土關係史蹟一覽 (上)

〔() 印は教科書外〕
〔※ 印は東京府外〕

尋常小學國史	高等小學國史	要項	遺蹟
1 天照大神 2 神武天皇	(1) 神代 (2) 神武天皇の創業 (3) 皇太神宮の創立	(先史時代遺蹟) ※(香取神宮) ※(鹿島神宮) (太玉命) 割葬品埴輪人形	貝塚 小石川植物園、砲兵工廠、湯島聖堂 附近、本郷岩崎男爵邸内、府布霞町阿部山、 同善福寺、芝公園丸山、上野公園動物園、 法谷氷川臺等。 千葉縣佐原町の東方約四キロの處に在り。 官幣大社、祭神は經津主神、現時の社殿は 元祿中五代將軍綱吉の造営したるものなり。 茨城縣鹿島郡に在り。官幣大社、祭神は武 甕雷神。 ※安房神社千葉縣北條の南、神戸村大神宮 山にある官幣大社安房神社は命を祀る。 出土品の例(芝公園古墳) 人骨、鐵刀、鐵鏃、骨鏃、曲玉、管玉、切 り子玉、琥珀、硝子製小玉、南京玉、銅製 腕環、銅環、祝部土器、素焼土器、埴輪樹

3 日本武尊	(4) 皇威の振興	※走水 ※(走水神社) ※(橘神社)
8 天智天皇と藤原鎌足(つぎ)	(9) 東北地方の開拓と朝鮮半島の離反	※(高麗の遺民)

て 物破片 (東洋学藝雜誌第二百號)

神奈川縣三浦郡浦賀町の大字 今横須賀市水道の水源地とす。

相模國觀音崎北端に在り。日本武尊を祀り尊の寶冠と御杵とを神體として藏す。

弟橘媛を祀る。十葉縣(上總國)長生郡本納町にあり。延喜式當國五社の一にして日本武尊、媛の遺物を收め陵を築き橘を樹ゑて標としたる遺址なりと傳ふ。(房總線本納驛下車)

それより入り幸して走水の海を渡ります時、その渡の神浪を興て、云々。かれ七日ありて後、その所の御櫛海辺に依りたりき。乃ちその御櫛を取りて、御陵を作りて治め置き。——古事記——

飯能を主邑とする高麗郡は明治二十九年埼玉縣入間郡に編入せられて其の名稱を失ひたるも此處は、靈龜年中高麗人を置きし處にして、續日本紀に「靈龜二年、(私註)元正

9 聖武天皇	(11) 奈良時代の字藝風俗	武藏國より銅を獻す
10 和氣清麿	(12) 奈良時代の佛教	(奈良朝時代の支通路)

帝) 以駿河、甲斐、相模、上總、下總、常陸、下野七國、高麗人千七百九十九人遷于武藏國、置高麗郡焉云々と見ゆ

※和銅谷 埼玉縣秩父郡原谷村箕山(黒谷)の東方一キロに其遺蹟と傳ふるものありて和銅沢の名残り。續日本記、慶雲五年武藏國秩父郡より和銅を奉る。元を攻めて和銅元年とす云々。

武藏は始め東山道に屬し、寶龜三年に東海道へ所屬変更になつたもので、當時の東山道の官道は、上野國府から秩父の山裾に沿うて入間郡を越えて府中町に至り、それから大宮附近を経、古河の渡を過ぎて下野國府に通じておたもので、二條の幹線は武藏野をV字形に縦断してゐた。

他方、相模國府(私註、高座郡海老名村區分)から原町田、丸子の渡、大井町、隅田川を渡つて常總方面に達する東海官道が通じてをり、更に原町田から分岐して府中に至るもの、及び府中から今の京王電車線に沿うて

16 源義家	
(16) 武士の興起	
平將門	國分寺址 ※道鏡墓

鞠町（國府路の轉訛）に出で東海宮道に合
 する二幹線が萬葉時代からの主要道路であ
 った。（武見芳二氏『日本地理風俗大系』）
 武藏國北多摩郡國分寺村、省線國分寺駅よ
 り約七町の處にあり。今は田圃の中に礎石
 のみを存す。寶曆の頃賢盛法印の建てたる
 藥師堂今も尚存す。
 東北線小金井駅東北約一里の處に藥師寺あ
 り。道鏡の貶謫せられたる處にして竹林中
 に道鏡の墓あり。

墓 鞠町區大手町大藏省構内に將門の
 首塚と傳ふるものあり。亡靈屢々祟りを為
 すと稱し、嘉元年中遊行二代他阿真致上人
 を請じて日輪寺に住せしめ、亡靈は境内鎮
 守の明神に配祀し、神田一郷の産土神とす。
 神田明神之也。後、社は現今の湯島の地に
 移り寺は白銀町より數次の變遷を経て法草
 區芝崎町二十二番地の現在地に移れり。昭
 和三年三月二十七日午後四時より大藏省に

17 平氏の勃興	
(17) 院政 武士の勢源為朝	
	鎌倉權五郎景正

於て神田明神宮司、淺草日輪寺本山河野大
 僧正等を招き鎮魂祭を行ひたること人の記
 憶に新なる所なり。
 神田明神 神田區宮本町十八番地（市電
 湯島一丁目下車）に在り。慶長八年駿河台
 に移り、元和六年現今の地に轉す。舊幕時
 代には江戸上下の尊信頗る篤く祭禮の如き
 も日枝神社と隔年に行ひ、江戸の二大祭と
 稱せられたり。
 大己貴命を祭神とし將門の靈を攝社とす。
 現今府社に列す。
 ※御震社 俗に権五郎社と云ふ。鎌倉
 長谷に在りて権五郎を祀る。
 伊豆の大島に流さる 今遺蹟と認むべ
 きものなし。元村の入口に為朝碑あり。岩
 田前東京府内務部長巡視の際建設せられた
 るものにして和歌一首を刻す。
 一矢にて船を沈めしますらをの
 昔庄みけむ伊豆の大島

18 平重盛	(18) 平氏の驕奢	清盛の墓	元と牛込區白銀町盛高院にありしが今は移りて市外中野町昭通盛高山保善寺に在り 供養墓の類か。本墓は兵庫縣武庫郡南逆瀬川眞光寺の南八棟寺址にありと傳へらる。
19 武家政治の起	(19) 鎌倉幕府の創	※鶴岡八幡宮	相州鎌倉町に在り。今東京市芝區田町七丁目に存する金杉八幡宮、牛込の市ヶ谷八幡宮は其の分社にして往時金杉三田等は鶴岡の神領なりしといふ。
		源頼朝	※墓 鎌倉法華堂背後の山上に在り。 ※其他の遺蹟 大藏幕府址、岡注所址等は鎌倉の内にて在りて今日も歴々指點すべし。 ※木像 秀吉が其の肩を撫して述懐せりと傳へらるゝもの、今横浜本牧三溪園内源公堂に移さる。
		鎌倉時代の交通路	一 本町田より一色、圖師、小野路、瓜生、乞田を経て関戸の渡を越え府中に入る道は古の鎌倉街道なり。(日本地理風俗大系) 二 増上寺西向觀音の辺は古の陸奥街道なり。(三縁山誌)

20 後鳥羽上皇	(20) 北條氏の民政	源實朝	※曾我元弟墓 三、赤坂離宮 蒼苔地を没するを古驛林と爲す、古の鎌倉官道なりといふ。(菊池三溪西苑記)
	(22) 鎌倉時代の文化	北條時頼	墓 府下中野の金剛寺墓地(寺は小石川金富町)に在り。波多野中務忠能の建つるところと云ふ。供養墓なり。外に鎌倉扇ヶ谷壽福寺、同大御堂谷勝長壽院址、神奈川縣中郡東秦野村金剛寺等に傳説墓あり。
		※金澤文庫址	墓 府下大井町鮫洲海晏寺にあるものは供養墓にして本墓は鎌倉、山の内明月院門前の田圃中に在り。 神奈川縣久良岐郡金沢村稱名寺内。稱名寺蓮池の西に在りしといふ。建治年中北條實時和漢の書を蒐藏す。上杉憲實執事の時再興せるも兵乱の爲荒廢に歸せり。一部は家康の楓山文庫に入れりも他は散佚して今存するもの少し。昭和五年完成せる縣立図書館金沢文庫には旧文庫藏書の一部

日蓮

と伊藤公寄贈の四書を藏す。稱名寺内に實時顯時の墓あり。(湖南電鐵金澤文庫下車)

本門寺 府下池上町にあり。土家池上宗仲の建つる処にして日蓮を開基とす。日蓮此地に入滅し遺骸を茶毘に附し遺言により身延山久遠寺に納むと云ふ。

墓 本門寺茶毘処の背後に墓碑あり。眞骨の一部を此処に葬り他は身延山に納むと云ふ。(池上電車本門寺前下車)

道元

銅像 府下洗足池畔。(池上電車洗足下車) 總持寺 神奈川縣橘樹郡鶴見に在り。曹洞宗大本山にして瑩山紹瑾(常濟大師)を開基とす。もと能登に在りしが明治三十一年炎上後、石川素童の英断を以て現地に移す。明治四十四年を以て遷祖式を行ふ。寺地十三万坪に及ぶ。(省線鶴見駅下車)

鎌倉の五山

1 建長寺 2 圓覺寺 3 壽福寺 4 淨智寺 5 淨妙寺 右の内壽福寺は榮西を開山とす。

(榮西)

(23) 北條氏滅亡

※(鳥合原)

鎌倉の内、今神奈川県師範学校の敷地となる。古、北條高時鷄を闘はせ大挑合はせし処と傳へらる。(新編鎌倉志リトリアハヒハラ)

護良親王

※鎌倉宮 親王を祀る。明治二年御造宮同六年官幣中社に列せらる。 ※土窟 親王幽閉の処と傳へらる。鎌倉宮の背後に在り。

(分陪河原)

新田義貞鎌倉攻の時北條軍を破りたる古戰場にして久米川(東村山の大字)と共に太平記の中に見ゆ。今北多摩郡府中町の西南部。(今は「ブバイガハラ」と呼ぶ)

※(東勝寺)址

鎌倉葛西ヶ谷に同寺址を存す。高時腹切窟と稱するものあり。中に五輪塔を安置す。高時の墓と傳ふ。

※稻村ヶ崎 (楠公銅像)

江之島電車稻村ヶ崎停留所附近の名稱。宮城前廣場に在り。明治三十年住友吉左衛門氏の建設したるものなり。彫刻は高村光雲。

※関城址

茨城縣眞壁郡河内村大字関館に在り。大寶沼の北岸なる台地を占む。(常磐線大寶沼下車)

22 後醍醐天皇
23 楠木正成
24 新田義貞
25 北畠親房と楠木正行

27 足利氏潜上	(27) 関東管領	※ 足利学校	もと下野國都賀郡國府野に在り。創建年代 來由共に不詳。数次の変遷を経て、永祿中現 在の地に移す。(両毛線足利市内)
28 足利氏衰微	(29) 室町時代の文化	眞宗	第九世閑室結長老(元信)家康の信任を蒙り常 に顧問たり。家康学田百石、書籍二百餘部 活字教萬顆を寄附す。依つて印行するもの 孔子家語、貞觀政要等あり。寶曆四年雷火 の爲庫裡方丈焼失安永七年再建したるもの 今存す。明治三十六年足利学校遺蹟圖書館 を設け古書を蒐藏す。
29 北條氏康	(31) 戦国時代の 大勢	古河公方 堀越公方 (小弓御所)	本願寺 西本願寺(築地) 東本願寺(浅草)共 に京都西本願寺の輪番にして掛所と稱せり。 何れも大正の震火に烏有に歸し旧觀一変せり。 ※ 館址 茨城縣猿島郡古河町(常磐線)の南 方鳩の築にあり。 ※ 館址 伊豆國田方郡荏山村大字四日町 の内守山の北、今島となりて御所内と呼ぶ。 ※ 址 千葉縣千葉郡生濱町に城址を存す。 (房總線曾我取下車)

※ 國府の台	※ 河越城址	千葉縣東葛飾郡市川町の北、江戸川 古、下總國府ありし処なり。天文七年十月 足利義明(小弓御所)里見義堯と共に陣し、北 條氏綱氏の軍を邀へ撃ちて大敗し、義明戰 死し、義堯僅かに身を以て免れ、古戰場な り。(京成電車市川下車)
川越市の東に僅に其の址を存す。戦國の頃 太田氏、上杉氏の命により築造せるものな りと傳ふ。	大永四年上杉朝興、江戸城を北條氏に攻落 され、此城に來り據りしが、天文六年氏綱 襲ひ来りて此城を取り、一族綱成をして守ら しむ。同十五年上杉朝定、憲政、古河の晴 氏と共に来り攻め大敗して退く。徳川氏に 至りて酒井河内守重忠をして守らしめ、慶 長十四年酒井讚岐守忠勝、寛永十二年堀田 加賀守正盛、同十六年松平伊豆守信綱、元 祿七年柳沢美濃守吉保、寶永元年秋元但馬 守喬知、明和四年松平大和守朝矩を経て、慶 應二年松平周防守康英八万石を以て此処に	

封せられたるを最後とす。維新後廢城とな
 る。(東武鉄道東上線池袋駅より)
 臺 本所太平町一の九一法恩寺、にある
 ものは伏養墓にして本墓は神奈川縣中郡伊
 勢原町上粕屋洞昌院に在り。
 木像 北豊島郡岩淵町箱附静勝寺。

太田道灌

郷土關係史蹟一覽 (下)

(一)は教科書外
 (※印は東京府外)

尋常小學國史	33 織田信長	34 豊臣秀吉	35 豊臣秀吉 (つゞき)
高等小學國史	(33) 國內の統一	(34) 邦人の海外発 展と当時の 文化	
要項	北條氏政 北條氏直 ※小田原城址	加藤清正	聚落第
遺蹟	※墓 箱根湯本早雲寺。 ※墓 右同。 小田原町の内今一部に縣立女学校あり。 上屋敷 後の井伊掃部頭邸、今の参謀本部。 下屋敷 代々木、明治神宮内苑の一部 (51八、天皇の崩御の項「代々木明治神宮」 参照) 墓(伏養墓) 池上本門寺。本墓は熊本市 本妙寺に在り。	※遺構 横浜本牧三溪園内に在る桃山御 殿一名臨春閣は、聚落第北殿の園地に臨み て建てたる利殿にして文祿四年伏見城中に 移され、元和六年伏見城取毀ちの際將軍秀 忠之を紀伊侯頼宣に賜はり、侯更に泉州堺 の飯野左太夫に與へたるもの、後大阪の清	

36 徳川家康
37 同(つゞき)

(35) 江戸幕府の
創立
今川氏真

江戸城

海氏の有に歸し明治三十九年本牧に移る。

墓 府下井荻町大字上井草觀泉寺(西武電
車東村山線下井草下車)
歿年 慶長十九年十二月廿八日、年七十七。
萬昌院に葬る。正保二年觀泉寺に改葬す。
其他 彼の子孫は高家今川氏として残り
又別に旗本となり品川氏を稱す。
沿革(本丸)初め鎌倉幕府の頃、江戸太郎重
長茲に居りて以末代々江戸氏の所領たり。
後、太田道灌築城して長祿元年三月此処に
移る。天正十八年八月一日家康入城。直ち
に工事を起し旧本丸を外二ヶ所の城を一圍と
なして此処に本丸を築き、同年九月に城内
の社寺を城外に移し、半藏・田安・一橋・神田橋
常盤橋の間に曲輪を設け城池を浚渫し橋梁
を架す。
慶長八年より十二年に亘りて沼澤に課して
内外城を修築し、本丸二の丸三の丸以下内
外の曲輪共石垣の高さ凡十二間乃至十三間
長さ七百間に及ぶものを築く。

寛永五年七月江戸に大地震あり、被害を蒙
る。依って寛永十三年一百餘藩に課して總
曲輪の造営を行ふ。享保十六年八月十一日、
本丸炎上、此後四回火災の厄に遭ひ、文久
三年十一月十五日第五次の炎上後は全く工
を起さず以て今日に及ぶ。
西丸 文祿元年頃、家康の隱居所たらしむ
る目的を以て起工せるものにして、文久三
年六月三日回祿の役に遭ひし後又工を起し、
元治元年竣成せしものなり。明治元年十二
月十三日鳳葺初めて此城に入る。
宮城 前將軍又は世子の居城たりし西丸
の址にして、現在の建物は明治六年炎上後
の新造なり。
太田道灌の江戸城 徳川氏の居城たりし
本丸の内ならんと稱せらる。
お濠の松 享保七年八代將軍吉宗の植立
しめたるものなり。当時の落首に「この頃
はさてもおくわしな公方さま、アルへいと
りて松風にする」アルへイ、松風共に駄菓子

浮田秀家

方廣寺の大佛

春日局

土井利勝

松平信綱

阿部忠秋

関東郡代

天海

寛永寺

の名なり、昭和三年春小松三百本を補植せり。
墓 板橋町下板橋小字浮田、浮田家地内にてあり。明名三年八丈島より移す。

寛文二年家綱の命により江戸に運び、亀戸に於て之を鑄潰し、寛永通寶(通稱文銭)を鑄造せり。今の亀戸三丁目日清紡績会社地は、錢座の跡なりと云ふ。(武江年表及帝都郊外発展誌参照)

墓 本郷区龍岡町麟祥院 市電本郷區役所前下車)

歿年 寛永二十年九月十四日六十五歳。

墓 芝公園安蓮社内。

歿年 寛永廿一年七月十七日七十二歳。

墓 埼玉縣北足立郡大和田町字野火止平林寺。

墓 日光山(石黒忠惠若老。参照)

郡代屋敷後馬喰町御用屋敷 馬喰町四丁目。

墓 (一)日光山 (三)川越喜多院 (三)上野公園内(遺髪塔)

創立 寛永四年。戌辰の夜に焼失す。現

東照宮
(家康墓)

時の建物は明治八年川越喜多院の大師堂を移したるものにして、内部改造の爲めに東照宮の本地堂を用ひたり。世良田長樂寺の本堂を移したりと云ふが如きは(大日本地名辭書其他)誤傳なり。

上野 寛永四年藤堂高虎の建つるもの、慶安四年改築のまゝ現存す。特別保護建造物、社格府社。(日光廟 元和二年起工翌年成る。現存の建物は寛永十一年の修築)

芝 元和三年の創立。元の名は安國殿。明治六年改稱す。社格府社。

秀忠墓 芝公園南靈屋。
(備考) 三條山増上寺の名は浄土經の文に見ゆる「親縁、近縁、増上縁」に出ず。南山西譽、中興開山源譽(親智國師)の墓共に公園内安蓮社に在り。

「徳川光圀に用ひられて」当時の駒込の屋敷即ち現第一高等学校所在地たる本郷向ヶ岡に居たり。天和二年四月十七日八十三歳を以て歿す。今、構内に「朱舜水先生終焉之

38 徳川家光

(36) 外国との交通
(37) 島原の乱と鎖国

朱舜水遺蹟

地」の石標あり。墓は水戸市外瑞龍山下に在り。

今の東京駅附近に地を賜はりて居たりと云ふ。耶揚子河岸(八重洲河岸)の名は即ち此れ

基く。彼の最後は詳ならず。

馬込勘解由の女を娶り、相摸國三浦郡逸見村に宰地を賜はり、江戸日本橋河岸に卜居す。元和六年五月十六日五十七を以て歿す。

法名壽覺満院現瑞居云、墓は逸見村及肥前平戸に在り、明治三十八年坪井正五郎氏等

英國公使立会の上逸見村の墓を発掘せしも何物をも発見せず。蓋し平戸に葬られたるか。安針町の旧址は昭和五年八月史蹟の假指定を受けたり。(加藤三吾若三補の安針参照、市電日本橋下車)

千葉縣夷隅郡浪花村岩和田(房總線御宿駅より五町)にあり。慶長十四年九月五日(一六〇九・九・三〇)比律賓より墨西哥への途上に左

りし西班牙船サン・フランシスコ號が難破漂着して乗員中六十六人は溺死し、残餘の三

ヤンヨーステン
(八重洲河岸)
ウイリヤ
アダムス 印址

※(三國交通記念碑)

支倉常長

(ルイス・ソテロ)

百餘人の救助せられし海岸の附近に立てられ昭和三年十月除幕式を挙行せり。

此時の遭難者中に在りし前フリッツピン總督ドン・ロドリゴ・デ・グイベロは江戸に出

で、將軍秀忠に謁し、次いで駿府に於て家康に謁し、家康より奨へられたる西洋型帆船(サン・ベナベンツラと命ず)に乗じて翌

年六月浦賀を発し、墨西哥に向へり、京都の商人田中勝助等二十餘人の硬乗したるものは即ち此船なり。

此の遭難者一行の救助に対する答禮大快として派遣されたるセバスチアン・ヴィスカイ

ノは慶長十六年四月浦賀に入港して家康及秀忠に謁し、答禮を果したる後、慶長十八

年伊達政宗の臣支倉六右衛門の一行に加はり陸前月の浦より帰國せり。

常長の東道たりし、ルイス・ソテロ (Luis Sotelo) はフランシスカン派の宣教師にして慶長十年江戸に來り、浅草に教会及癩病院を建て、布教に従事したり。政宗の相知

キリスト教

りしは此の際に在りき。彼の建てたる教会
及病院の跡は今詳ならず。(パジエス日本基
督教史二四〇頁参照)

會堂 茂草(場所不明) Au lieu appelle

Asacrua, à une demi-lieue de la ville.
Pages

信者 武藏・上總・下總・常陸・下野・上野・相模

武藏國 一、江戸より宗門多く出申候、此

処に先年きりしたん寺御座候、千駄ヶ

谷にて乞食二十人餘り出申候、牛込に

て乞食十人出申候

一、伊奈半左衛門御代官所ほきま(南近五

郡・洲江村保木町)より七八人も出申候、

一、同断神奈川より穢多に宗門二十餘出

申候

一、阿部豊後守領分忍より侍に宗門一人

出申候

一、松平伊豆守領分川越より宗門一人出

申候、契利斯督(注意、禁教後のもの

元和九年原主水等五十人の信徒を品川に於

信者の処刑

て火刑に処す。

次て又二十六人を焚殺す。

寛永十五年十二月江戸芝口に於て信徒九十

三人を死罪に処す。

同十七年信徒九名江戸四谷門外に穴居潜伏

中を囚はれ、梟首せらる。此時又品川駅に

於て七十餘名を縛し水中に投ず(通航一覽参照)

江戸小日向井上政後守(宗門奉行)の下屋敷に

りし処にして、正保三年ローマの伴天連兩

本三右衛門等を此処に繋ぎ、後寛永五年種

子ヶ島に渡航し来れるローマの伴天連ヨア

ン、バツケスタ、シドツチを拘禁せり。新井白

石の西洋紀聞は即ちシドツチを審問したる

記録にして、白石がシドツチを審問したる

場所此の切支丹屋敷なりしこと西洋紀

聞に委しく記されたり。寛政四年廢す。今

の小石川区茗荷谷町八十九番地乃至九十一

番地の辺は其址なり。拙著史蹟切支丹屋敷

研究参照、市電竹早町下車)

(切支丹屋敷)址

家光墓 日光山

(38) 産業學問の発
達
元祿時代の文藝

五街道

一里塚

河村瑞賢

林道春
(印址墓)

入口。東海道 品川。中仙道 板橋。奥州街道 千住(宇都宮まで日光街道を兼ね)。日光街道 千住。甲州街道 内藤新宿。本郷東片町八番地及一高枝門前、塚は今取毀ちて無し。市外麓の川町西ヶ原。(慶長見聞集参照)

慶長九年八月、当月中関東從右大将秀忠公諸國道路可作由秩相上、廣サ五間也、一里塚五間四方也、關東奥州迄右、通ナリ。木曾路同如此。(当代記)

宅址 京橋区南新堀町一丁目
墓 鎌倉建長寺中舊金剛院址(半僧參道與茶店より左約一丁程登り左手の平地)にあり、彼の別宅弘文院のありしは今西郷銅像彰義隊墓のある辺にして、此処に在る櫻は道春手植のものと同稱せられ道春櫻の名あり。彼の遺骸は初め此処の一隅に葬られしが、元祿十一年市ヶ谷に地を賜はりて移せり。今山伏町十六林家累代墓地の中にあり。(市電牛込柳町下車)

212557

湯島聖廟

熊沢番山墓

水下順庵印址

新井白石
室鳩巢

元祿三年細吉の建つる処にして、林氏の上野に建てたる聖廟より孔子の像を移して此処に祀れり。江戸時代文教の中心たりし処にして、数次の火災に炎上し、寛政十年の建造にかゝる建物も亦大正の震災に為有に焼せり。今之が復旧に着手しつゝあり。(三宅米吉著聖堂略記参照 市電お茶水下車)

※茨城縣猿島郡勝鹿村大字大堤村鮭延寺に墓あり。此地は彼が晩年幽囚の地たり。

元祿四年八月十七日、七十三を以て歿す。神田區台所町は其の旧宅址のありし処と傳へらる。

墓 元と足原郡池上町大字堤方曙樓の地内にありしが今は改葬せられて小石川大塚先儒墓所内に在り。元祿十一年十二月廿六日、七十八を以て歿す。(市電護國寺前下車)

42 新井白石參照(三〇頁)
神田區駿河台の辺に卜居す。依つて駿台を以て號とす。今其址不詳。

享保十九年八月十二日歿す。享年七十七。

山鹿素行

初めて大塚御殿畠に葬地を賜はる。世俗儒者捨場を以て呼ぶ。今の先儒墓所なり。(市電護國寺前下車)

大石良雄

牛込區辨天町一宗参寺(柳町下車)に墓あり。貞享二年九月二十六日六十四歳を以て江戸浅草田原町三丁目に歿す。月海院殿珙光浄珊居士墓とあるものは彼の墓なり。

松尾芭蕉
(芭蕉庵)

41大石良雄を見よ。(二七一—二八頁)彼の假寓したりし芭蕉庵はもと鯉屋杉風の別墅にして、後年紀州家の控屋敷となり。維新後は米倉某の有に歸せり。深川区西元町一番地(市電安宅町下車)に其の遺址を存す。

狩野探幽

小石川区関口台町六渡辺右衛門邸に関口芭蕉庵の遺蹟あり。松尾桃青が承應中神田上水掘鑿の当時藤堂家の家臣として此処にあり。後年従事せる処と傳へらる。五月雨塚あり。(市電江戸川終矣下車)墓は池上本門寺(池上電車本門寺前)にあり。別に中目黒永隆寺(元の名は大乗寺、玉川電

菱川師宣墓

車中目黒終矣下車)にある墓は寺と共に芝区三田小山町より移轉せるものにして分骨墓と傳へらる。碑面には何れも、玄徳院日道の文字を刻せり。

彰考館

千葉縣保田町別願院に其墓あり、先年井上喜多郎氏の建立したるものにして同地には師宣の子孫今尚連綿として存す。

光圀の墓

大日本史の編纂を行ひたる彰考館は水戸反小石川砲兵工廠内のニヶ所けあり。何れも後世の建物なり。

41大石良雄

(39)江戸幕府の中興

丸橋忠彌墓

※水戸市外瑞鏡山にあり。(水戸鉄道太田駅下車)

慶安四年八月十三日岳川に於て磔刑に処せらる。即ち今云ふ鈴ヶ森刑場は此頃初めて開かれたるものなり。北豊島郡高田町字砂利場金乘院に丸橋の墓と稱するものあれども根拠頗る疑ふべきが如し。(武藏野第八巻第五號「東京附近に於ける疑向の名墓」参照)

明曆大火
(回向院)

本郷駒込丸山本妙寺より発火す。所謂振袖
火事と稱するものにして、此時の死者八十
萬八千人の死骸を舟に載せ、本所牛島の堀
を埋めて此処に葬る。今の回向院之也。(市
電國技館前下車)

家 綱
堀田正俊

墓 上野公園徳川家靈廟。
墓 浅草区森下町四一金藏寺。(市電三筋
町下車)

酒井忠清 邸址

馬場先に其邸宅あり。下馬將軍と謳はれて
替威飛鳥を墮すが如き勢ありし彼の邸地に
は今大藏省及内務省の建物あり。

柳澤吉保

墓は牛込区市ヶ谷河田町三月桂寺にあるも
こは招魂墓にして本墓は山梨縣東山梨郡松
里村惠林寺にあり。

護 國 寺

小石川区大塚坂下町一六に在り。新義真言
宗豊山派の別格本山にして、元祿五年僧正
高賢の開創にかゝる。
享保二年護持院の神田に於て炎上するや再
建を停めて名稱及寺録を護國寺に給し、從
來の本坊及方丈に護持院の名を改へ、観音堂

大 小 屋 址

赤穂義士
(寺坂吉右衛門墓)
(間新六墓)

を改めて護國寺と稱すること、なれり。
明治の初年護持、護國兩寺共廢寺の悲運に
際合せ人とせしが、湯島根生院の僧俊海(後
年直樹姓を稱す)の努力により護國寺再興
の名の下に辛うじて廢寺を免るゝことを得
たり。(市電護國寺前下車)
元祿八年五月大久保御用地二萬五千坪に大
小屋を設く。今其址詳ならず。同十二月
野村十六万坪の地に大小屋を設く。現今の
省線中野駅附近にして此処に今「カゴ」と稱す
る字あり。當時の大小屋の圖ありしより起
りし名なりと傳へらる。(武藏野第十五巻第
五號「中野の大小屋」参照)
墓 泉岳寺にあり。別に麻布区本村町二
の五曹溪寺に寺坂吉右衛門の墓あり。蓋し
彼は大石の内命を含みて泉岳寺に赴く途中
出奔し所刑を免れ、晩年を此の寺の附近に
送りしものなりと云ふ。延享四年十月六日
八十三を以て歿す。碑面に節岩了貞信士の
獅を刻す。別に彼の為めに建てられたる記

念碑寺内に在り。間新六の遺骸は親戚のもの請ひ受けて築地西本願寺墓地に葬れり。数年前改葬の爲め発掘したるに彼の遺骸と認むべきもの発見せられず。依つて彼の爲めに泉岳寺に於て盛大なる慰靈祭を施行せり。大石良雄銅像 泉岳寺境内。

切腹の場所

大石良雄等十六人 細川越中守下屋敷(高輪御殿内)

大石主税等十八人 久松隱岐守中屋敷(松方公爵邸 現伊太利大使館 三田(丁目二八))

竹林唯七等十五人 毛利甲斐守上屋敷(現増島邸麻布區北日ヶ窪三七)

間十次郎等九人 水野監物下屋敷(芝區三田四國町十四番地辺)

邸址 本所區松坂町二丁目上野稻荷附近今市の原木建てり。(市電國技館前下車)

墓 府下野方町上高田三。三萬昌院功運禪寺 省線東中野駅下車)元と牛込萬昌院

吉良義央

浅野長矩

に在りしが近年寺と共に移轉せしものなり。邸址 京橋鉄砲洲今其址明確ならず。切腹の処 芝區田村町九。

墓 芝區高輪東町三八 泉岳寺。(備考) 假名手本忠臣藏(竹田出雲作)の名はいろは歌の七字目毎の文字をとりて「とがなくてしす 科無くて死す」の意を寓せるものなり。

42 新井白石

木下順庵 朝鮮使節

細吉建立の寺院

産業學問の發達参照。(二三頁)

旅館 本誓寺は初め八重洲河岸附近に在り、後火災に罹り馬喰町に移り更に天和三年現在の巡深川区仲大工町二六に移る。其客館たりしは馬喰町に在りし時なり。(東本願寺) 本誓寺焼失したる爲め亦七回の朝鮮使節(家宣の時)は此処を以て宿所とせり。

1 護國寺 (39)江戸幕府の中興参照。(二六頁)

2 護持院 同前。

3 靈雲寺 本郷區新花町一〇七。

眞言宗高野派別格本山、開基淨嚴墓は池の端七軒町七の妙極院に在り。

墓 上野公園徳川家靈廟。

墓 芝公園北の靈屋。

墓 同前

府下中野町字大塚一八一七商徳寺、もと浅草の同寺墓地（圓照寺墓地内）にありしが明治四十二年四月六日此処に移せり。（拙稿念入りに誤られたる白石の墓 六年生教育第四卷第一號参照）

43 徳川吉宗

綱吉 家宣 家継 白石の墓

小石川養生所

大岡忠相

址 現今の小石川植物園の一部、小川釜船の建議によりて設けられたるものなり。（上田三平著日本藥園史の研究参照）
邸址 赤坂一ツ木町に在り豊川稻荷はもと其の邸内に在りしものにして、明治二十年現在の処に移したるなりと云ふ。
墓 府下野方町上高田三〇三萬昌院功運禪寺、此墓はもと芝区三田功運町功運寺にありしものを大正二年寺院と共に移轉せし

オランダ人の馬術
（宿所、馬術実演の址）

青木昆陽

ものにして、實は影墓なり、本墓は神奈川縣高座郡小出村堤浄土宗浄見寺にあり。（沼田頼輔著大岡世前守参照、東海道線茅ヶ崎下車）
ケーツル 此の和蘭人はケーツルと稱するものにして、享保十年幕府が和蘭より購入せる五匹の西洋馬を幸ふ未れる馬術師なり。彼は將軍の命によりお 御殿へ今の濱離宮に滞在して厩馬の訓練に当り、享保十五年三月一日將軍吉宗親覧の下に田安馬場（近衛所田司令部の辺）にて乗馬術を実演し、銀七十枚を賞賜せられたり（徳川実記、白井光太郎著日本博物年表参照）
邸地 府下目黒大鳥神社の隣今空地となりて存す。（市電目黒終点下車）
墓 目黒瀧泉寺（目黒蒲田電車不動前下車）の背後にあり。（猪股延太郎著柳水遺稿参照）
昆陽神社 千葉縣幕張（馬加）に在り。此地は昆陽が上總國不動堂村と共に甘藷試作

44 松平定信	(40) 江戸幕府の 哀運	甘藷栽培地 甘藷栽培地 吉宗の墓	地の一としてなる最初の場所なり。(京成電車 幕張下車) 小石川植物園内 現今ニヶ所ト標示す。 址 濱離宮内及吹上御苑内。 上野公園内徳川家霊廟。 墓 染井共同墓地。もと駒込蓬萊町四勝 林寺にありしが近年此処に移せり。(意知の 墓は移轉の際他に合併せられたりと云ふ。 土善之助若田沼時代参照) 墓 芝公園北霊廟。 墓 上野公園徳川家霊廟。 今東京女子高等師範学校の敷地となる。 40徳川光圀、湯島聖廟の項参照。(市電お茶 の水下車) 墓 小石川区大塚坂下町先儒墓地(市電 護国寺前下車) 墓 深川区霊岸町四六 霊岸寺(市電區 役所前下車) 墓 小石川区原町四。 本念寺(市電小 石川区原町下車)
---------	------------------	------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

45 本居宣長	(41) 尊王論と國字 の發達	十返舎一九 曲亭馬琴 喜多川歌麿 家 濟 墓 家 慶 墓 水野忠邦 徳川光圀 史 局 竹内式部 山縣大貳	墓 千住町八千代町四三の一、日蓮宗共 同墓地(通稱梅田墓地)もと浅草永住町一〇九 東陽院にありしが、先年移轉せしもの也。 碑の刷面に辭世の狂詠一首を刻す。「この世 をばどりやおいとまに線香の けむりとと もにはい左様なら」 卯址 九段中坂瀧澤邦行邸(市電九段下車) 墓 小石川区茗荷谷ニハ深光寺(市電竹 早町下車) 墓 浅草区北松山町九。専光寺(市電清 島町下車) 上野公園徳川家霊廟。 芝公園北の霊廟。 墓 荏原郡池上町本門寺内法泉寺墓地。 40徳川光圀参照。(二二―二五頁) 同 前 彰考館参照。(二五頁) 墓 東京府下三宅島(星野恒着竹内式部 君事蹟考参照) 墓 四谷区舟町六七全勝寺墓地。もと隣 地全徳寺に在り。全徳寺廢寺の後墓は当寺
---------	--------------------	---------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

46 高山彦九郎と
蒲生君平

加茂眞淵

平田篤胤

堀保巳
(和学所)

君平墓

に移されたるものなり。外にニヶ所あり、
(佐伯利鷹編好古集説卷三参照、市電四谷
塩町下車)

1 山梨縣中巨摩郡龍王村金剛寺。

2 茨城縣新治郡林村根古屋。

邸址 日本橋区浜町。

墓 荏原郡品川町北品川宿大山東海寺墓

地(京浜電車北馬場下車)

平田神社 小石川區第六天町平田盛胤氏

邸内(市電竹早町下車)

邸址(和学所址) 麹町上六番町一―五番地

(市電靖国神社前下車)

温故学會 渋谷区氷川四にあり群書類從

の版木保存の為に設けられたるものなり

(玉川電車役場前下車)

墓 四谷区寺町ニ受染院。もと隣地安

樂寺にあり。後此地に改葬す。(市電麹町十

三丁目下車)

下谷区谷中坂町四一臨江寺。(市電藍染橋下

車)

47 攘夷と開港

(42) 外国船の來航
と海防

林子平

齊昭鑄造の大砲
近藤重藏

間宮林藏

伊能忠敬

一族の墓 小日向水道端ニの五八日輪寺
(市電石切橋下車) 子平の墓は仙台市龍雲
院にあり)

九段靖国神社境内遊就館入口に陳列す。

邸址 府下上目黒大字三田字茶屋坂上、

杉野喜精氏邸。(高橋源一郎著武藏野歴史地

理参照)

石像 府下瀧の川字馬場五四。正受院境

内。(市電飛鳥山終点下車)

墓 本郷区駒込追分町七六西善寺。(市電

本郷追分町下車) 但し此墓供養墓にして本

墓は滋賀縣大溝瑞雲院に有り。

墓 深川区靈岸町一八本立院(市電區役所

前下車)。外に茨城縣筑波郡上平柳村(今谷井

田村の内)に在りと云ふ。

※旧邸 千葉縣佐原町本橋元モトハシに在り。当

主は伊能三郎右衛門氏。昭和五年八月指定

史蹟となる。

銅像 佐原町に存す。

墓 浅草区北清島町一ニ五源空寺。(市電
清島町下車) 外ニ千葉縣香取郡香西村牧野
觀福寺に供養墓あり。
測量の起矣。高輪大木戸、今史蹟として
保存せらる。(市電泉岳寺前下車)
測地費功表 芝公園丸山にあり。中に測
量機械の一部を納む。(市電赤羽橋下車)
徳丸ヶ原調練場址 豊島郡赤塚村下赤塚、
今此地の松月院に記念碑あり。
墓 本郷区駒込東片町六六大圓寺。(市電
白山上下車)
練兵場址 今の芝恩賜公園の一部。(省線
浜松町駅下車)
墓 浅草区高原町ニ四本法寺、但し此の
墓は影墓にして本墓は伊豆山本山立寺にあり、
並山反射爐鑄造の大砲 九段靖國神社境
内大村益次郎銅像の周圍を飾る。但しこは
英龍の子英敏、英武等の手に成りしものなり、
お台場 江川英龍の設計に成りしもの
完成せるもの五基、未成ニ基所屬左の如し

高島四郎太夫
江川太郎左衛門

48 塚原と南港
(ついき)

(43) 洋学の發達と
南港の如末

新井白石
青木昆陽
前野良澤
杉田玄白
大槻鱗水
高野長英
ハリス
家定墓

- 第一、緒明造船所所有。
- 第二、第五、海軍省所有。
- 第三、第六、東京市所有。

42 新井白石、三九頁 38 徳川家光の中切
支丹屋敷の項参照ニ一頁
43 徳川吉宗参照 三〇頁
墓 府下荏原郡和田堀の内一三七慶安寺。
(西武鉄道新宿線妙法寺口下車)もと下谷区
池の端七軒町ニ三同寺にありしもの。即址
は京橋区明石町五六の辺。
墓 芝区西久保巴町六三榮院院。(市電西
久保巴町下車)
墓 芝区下高輪五八東禪寺。(市電泉岳寺
下車)
記念碑 赤坂区青山北町六丁目三一善光
寺。(市電青山六丁目下車)
米國領事館 麻布区山元町ニ善福寺。(市
電麻布ニの橋下車)
上野公園徳川家靈廟。

櫻田門	井伊直弼	新見正興	吉田松陰	梅田雲濱	49 孝明天皇	
旧時の儘現存す。(市電櫻田門下車。震災後修葺す)	郵址 丸の内参謀本部。(加藤清正の項芬照)	遭難の場所 櫻田門前電車線路交叉吳附近	銅像 横浜市掃部山。	墓 荏原郡若林豪徳寺。(玉川電車豪徳寺前下車)	(44) 大政奉還	安藤信正
		墓 府下野方町上高田三一。願正寺。(省線東中野下車。牛込区富久町より移轉)	松陰神社 荏原郡世田ヶ谷若林。(玉川電車松陰神社前)			
		墓 松陰神社境内。(玉川電車松陰神社前)	墓 外北豊島郡南千住小塚原回向院(省線南千住下車)に墓址を存す。	墓 浅草区松葉町一三一海禪寺内泊船軒。(市電清島町下車)		
		墓 南千住町勝専院、別江府下高井戸六六栖岸院に在り。供養墓敷。(麹町区麹町)				

50 武家政治の終

坂下門	和宮	三條實美	松平容保	家茂	大久保利通	岩倉具視	山内豊信	後藤象二郎
八丁目二五同寺より移轉。玉川電車下高井戸下車)	旧時の儘存す。(市電馬場先門下車)	墓 芝公園北の靈廟。(市電増上寺前下車)	墓 小石川区坂下町一六護國寺。(市電護國寺前下車) 神道碑、同所。	墓 田谷区新宿北町一。正受院(市電新宿一丁目下車)	墓 芝公園北の靈廟。(市電増上寺前下車)	遭難の場所 麹町区清水谷公園内「大久保公哀悼碑」附近(市電赤坂見附下車)	墓 赤坂区青山墓地。(市電青山三丁目下車)	神道碑 同前
		墓 岳川町敷洲海晏寺。(京浜電車敷洲下車) 神道碑、同所。	墓 府下大井町土佐山山内家墓地。(省線大井駅下車)	墓 赤坂区青山墓地内。				銅像 芝公園。

明治天皇 一、明治維新	(45) 明治維新	小松宮彰仁親王 有栖川宮熾仁親王 大慈院 山岡鉄太郎 勝安房 彰義隊 榎本武揚 徳川慶喜	墓 小石川区大塚豊島ヶ岡皇族墓地。(市電護國寺前下車) 銅像、上野公園。 同前。銅像、参謀本部前。 慶喜の謹慎幽居したりし上野大慈院の址は現在の寛永寺のある所なり。 墓 下谷区谷中三崎町全生庵。(市電團子坂下車) 墓 荏原郡洗足。(池上電車洗足下車) 戦役地 上野公園。 墓 上野公園山王台、下谷区三の輪國通寺。(市電子住大橋下車) 墓 本郷区駒込吉祥寺町一ハ吉祥寺。(市電吉祥寺前下車) 銅像、向島木母寺。 墓 下谷区谷中天王寺墓地。(市電團子坂下車)
----------------	-----------	-------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

四〇

同 一、西南の役	(46) 近境の開港 隣國との修交	西御隆盛 黒田清隆 西御從道	墓 青山墓地。 墓 青山墓地、銅像、海軍省前。 引七、韓國併合参照 四四頁
	(47) 外交の進歩と 社会の変遷	伊藤博文 佐野常民 西御隆盛 大村益次郎 日本最初の停車場	銅像 上野公園山王台に在り。明治三十年吉井友實等の發起によりて建設せられしものなり。 銅像 麹町区九段靖國神社境内。明治二十四年建設。日本最初の銅像なり。 新橋駅 元東海道線の首駅にして我國鉄道工事最初の建築なりしが大正の震災に鳥有と歸せり。今の汐留駅のある址は其の遺址なり。 明治五年九月十二日明治天皇臨御の下に開業式を挙行せり。 新橋の名は当時の国道第一號東海道線汐留

橋となれり。従って二重橋の名は現在に於ては其の實を伴はざるものなり。

同 三、憲法公布	(48)立憲政体の確立	副島種臣 板垣退助 地方官會議 加藤弘之 大隈重信 憲法記念館 憲法記念碑	川に架せる鉄橋の名に起りしものなり。 墓 青山墓地。 墓 府下田川東海寺墓地。(京浜電車北馬場下車) 銅像 芝公園。 議場 浅草東本願寺。(明治八年六月二十日より七月十七日迄會議あり)大正の震災に焼失せり。(市電東本願寺前下車) 墓 北豊島郡雑司ヶ谷墓地。(市電護国寺前下車) 墓 小石川区護国寺。(同前) 銅像 芝公園。 青山北町明治神宮外苑(市電權田原停留所前)にあり。元は赤坂假皇居内にありて明治天皇臨御の下に屢々憲法制定の討議を重ねし記念すべき建物なるが、後、伊藤博文に賜はり、明治神宮創建と共に伊藤公爵家より献納せしものなり。 東京湾内夏島の憲法起草の旧址に存す。夏
-------------	-------------	---------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

同 五條約改正	(50)條約改正法典の編纂	井上馨 陸奥宗光 花房義質 金玉均 伊東祐亨 北白川宮能久親王	島は追浜飛行場埋立の爲め今は全く陸続きとなれり。(湘南電鉄金沢下車) ※墓 神奈川縣中郡大磯町大運寺。 墓 府下荏原郡上大崎七九四常光寺。芝高輪正福寺ヨリ移轉(市電白金台町二丁目下車) 墓 下谷区谷中上三崎町長安寺。(市電團子坂下車) 墓 深川区靈岸町一〇玉泉院。(市電深川区役所前下車) 墓 麻布区筭町九九、長谷寺。(市電筭町下車) 銅像 外務省構内 墓 府下池上町本門寺。(池上電車本門寺前下車) 墓 (一)青山墓地。(二)本郷区蓬萊町二三眞浄寺 墓 澁州海晏寺。(京浜電車澁州下車) 墓 小石川区大塚豊島ヶ岡皇族墓地(市
同 四、明治三十七八年戦役	(51)朝鮮の事変と明治三十七八年戦役	福沢諭吉 狩野芳崖 橋本雅邦 中島信行	(49)文化の發達

52 大正天皇
 一 天皇の即位
 二 歐洲の大戦
 と我が國

(57)
 歐洲の大戦
 と我が帝國
 の地位

加藤友三郎
 大正天皇

墓
 青山墓地
 御陵 府下多摩御陵。(京王電車多摩御
 陵前下車)

東京
 中心 郷土關係史蹟一覽 終り

東京市神田區盛河1037
 中央大學印刷部
 印刷所 廣文社
 電話神田 (25) 3033



